令和　８年（ケ）第　　１２８号

期　間　入　札　の　公　告

令和　８年１１月１３日
東京地方裁判所立川支部民事第４部
裁判所書記官　小　林　裕　子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和　８年１２月　２日　午前　９時００分から 令和　８年１２月　９日　午後　５時００分まで	
開札期日	日　時 場　所	令和　８年１２月１５日　午前１０時００分 東京地方裁判所立川支部売却場
売却決定期日	日　時 場　所	令和　９年　１月　６日　午前１１時００分 東京地方裁判所立川支部民事第４部
特別売却実施期間	令和　８年１２月１６日　午前１０時００分から 令和　８年１２月１８日　午後　５時００分まで	
買受申出の保証の提供方法	下記のいずれかによる。 （１）当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 （２）銀行または損害保険会社の支払保証委託契約締結証明書	
買受申出の資格の制限（民事執行規則３３条）	☆印を付した物件は農地であるので，権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り，買受申出をすることができます。	
一般の閲覧に供するため，物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和　８年１１月１３日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和８年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	5,850,000 4,680,000	一括	1,170,000	33,315	7,984
1	90,000				
2	1,440,000				
3	4,320,000				
備考					

令和　8年（ケ）第　　１２８号

物　件　目　録

１　所　　在　　青梅市今井二丁目

　　地　　番　　１０２７番１

　　地　　目　　公衆用道路

　　地　　積　　２３７平方メートル

　　共有者　Ａ　持分１４分の２

２　所　　在　　青梅市今井二丁目

　　地　　番　　１０２７番６

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　１２５．４７平方メートル

　　所有者　Ａ

３　所　　在　　青梅市今井二丁目１０２７番地６

　　家屋　番号　　１０２７番６

　　種　　類　　居宅

　　構　　造　　木造スレート葺２階建

　　床　面　積　　１階　３７．２６平方メートル
　　２階　３８．００平方メートル

　　所有者　Ａ

令和　8年（ケ）第　　128号

物　件　明　細　書

令和　8年　9月16日
東京地方裁判所立川支部民事第4部
裁判所書記官　川　山　理　恵

1　不動産の表示
【物件番号1～3】
別紙物件目録記載のとおり

2　売却により成立する法定地上権の概要
なし

3　買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号1～3】
なし

4　物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号3】
本件所有者が占有している。

5　その他買受けの参考となる事項
【物件番号2】
本件土地の一部は、所有者不明の自動車の車両置場として使用されている。同人の占有権原は買受人に対抗できない。

《注　　意　　書》

1　本書面は，現況調査報告書，評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり，関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。

2　記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし，記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので，必ず，現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。

3　買受人が，占有者から不動産の引渡しを受ける方法として，引渡命令の制度があ

ります。引渡命令に関する詳細は，「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

4　対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

5　各種「詳細説明」は，閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか，ＢＩＴシステムの「お知らせ」メニュー内の各裁判所にある「競売ファイル・競売手続説明書」にも登載されています。

令和　8年（ケ）第　　１２８号

物　件　目　録

１　所　　在　　青梅市今井二丁目

　　地　　番　　１０２７番１

　　地　　目　　公衆用道路

　　地　　積　　２３７平方メートル

　　共有者　Ａ　持分１４分の２

２　所　　在　　青梅市今井二丁目

　　地　　番　　１０２７番６

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　１２５．４７平方メートル

　　所有者　Ａ

３　所　　在　　青梅市今井二丁目１０２７番地６

　　家屋　番号　　１０２７番６

　　種　　類　　居宅

　　構　　造　　木造スレート葺２階建

　　床　面　積　　１階　３７．２６平方メートル
　　２階　３８．００平方メートル

　　所有者　Ａ

令和８年（ケ）第１２８号
令和８年７月１５日受理
令和　8年9.10月　日提出
（評価人：松岡利喜雄）

現 況 調 査 報 告 書

東京地方裁判所立川支部
執行官　佐　治　憲　彦

令和　8年（ケ）第　　１２８号

物　件　目　録

１　所　　在　　青梅市今井二丁目

　　地　　番　　１０２７番１

　　地　　目　　公衆用道路

　　地　　積　　２３７平方メートル

　　共有者　Ａ　持分１４分の２

２　所　　在　　青梅市今井二丁目

　　地　　番　　１０２７番６

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　１２５．４７平方メートル

　　所有者　Ａ

３　所　　在　　青梅市今井二丁目１０２７番地６

　　家屋　番号　　１０２７番６

　　種　　類　　居宅

　　構　　造　　木造スレート葺２階建

　　床　面　積　　１階　３７．２６平方メートル
　　２階　３８．００平方メートル

　　所有者　Ａ

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	東京都青梅市今井二丁目１０２７番地６（住居表示未実施）
土地	物件１、２
現況地目	■宅地（物件２）　■公衆用道路（物件１）　□　　（物件　）
形状	□公図のとおり　　□地積測量図のとおり □建物図面（各階平面図）のとおり　　■土地建物位置関係図のとおり □
占有者及び占有状況	■土地所有者Ａ　□その他の者 上記の者が物件２の土地上に下記建物を所有し、占有している □「占有者及び占有権原」のとおり ■□土地共有者Ａ　　が物件１の土地（持分１４分の２）を道路に提供している
下記以外の建物（目的外建物）	■ない □ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）
その他の事項	
建物	物件３
種類，構造及び床面積の概略	■公簿上の記載とほぼ同一である □公簿上の記載と次の点が異なる（□主たる建物　□附属建物） □種　類： □構　造： □床面積：
物件目録にない附属建物	■ない □ある ― 種　類： 構　造： 床面積：
占有者及び占有状況	■建物所有者Ａ　□その他の者 上記の者が本建物を　居宅　として使用している □「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地（目的外土地）	■ない □ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）
その他の事項	
執行官保管の仮処分	■ない □ある ― 地方裁判所　　支部　令和　　年（　）第　　号 保管開始日　令和　　年　　月　　日
土地建物の位置関係	□建物図面（各階平面図）のとおり　　■土地建物位置関係図のとおり

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執 行 官 の 意 見

1　本物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
2　本件建物は、令和８年７月３１日の調査期日において、室内に立ち入ったところ、居宅として使用されており、室内には所有者Ａ名義の公共料金関係書類が存在した。
3　物件２の土地の南側部分には、無施錠の普通乗用自動車が放置されている。（以下「放置車両」という。）
　調査の結果、放置車両に取り付けられたナンバープレートは、第三者名義の普通乗用自動車に取り付けられていたナンバープレートを取り外したうえで、放置車両に取り付けられている可能性が高い。
4　放置車両の車内に存在した自動車検査証記載の名義人と所有者Ａに対して、照会書を送付したが、回答書の提出がなく、両者の関係は不明である。
5　本件建物の占有状況については、ライフライン調査結果、郵便物の存在及び現場の使用状況から２枚目のとおり報告する。

以　上

（調査経過用）

調 査 の 経 過

調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和８年７月２１日 11：11－11：26	物件所在地	■物件確認　■物件調査　■占有調査　■外観写真撮影 □立入調査　□図面作成　□写真撮影 ■居住者に対し、臨場日時通知書差置
令和８年７月２１日 ：　－　：	当庁（郵便）	■ライフライン調査（水道）
令和８年７月２２日 ：　－　：	当庁（郵便）	■自動車登録名義照会書送付
令和８年７月２９日 9：28－9：45	東京法務局西多摩支局	■不動産全部事項証明書取得
令和８年７月３１日 9：10－10：04	物件所在地	■立入調査　■物件調査　■占有調査　■写真撮影 ■図面作成　■評価人同行
令和８年８月４日 ：　－　：	当庁（郵便）	■所有者に対し駐車場利用契約照会書送付 （期限内に回答書の提出がない） ■駐車場占有者に対し駐車場利用契約照会書送付
令和８年８月１９日 8：36－8：50	物件所在地	□物件確認　■物件調査　■占有調査　■写真撮影 □立入調査　□図面作成
令和８年８月２０日 ：　－　：	当庁（郵便）	■駐車場占有者に対し駐車場利用契約照会書送付 （宛所に尋ね当たらず）

（特記事項）

□　令和　　年　　月　　日
　目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

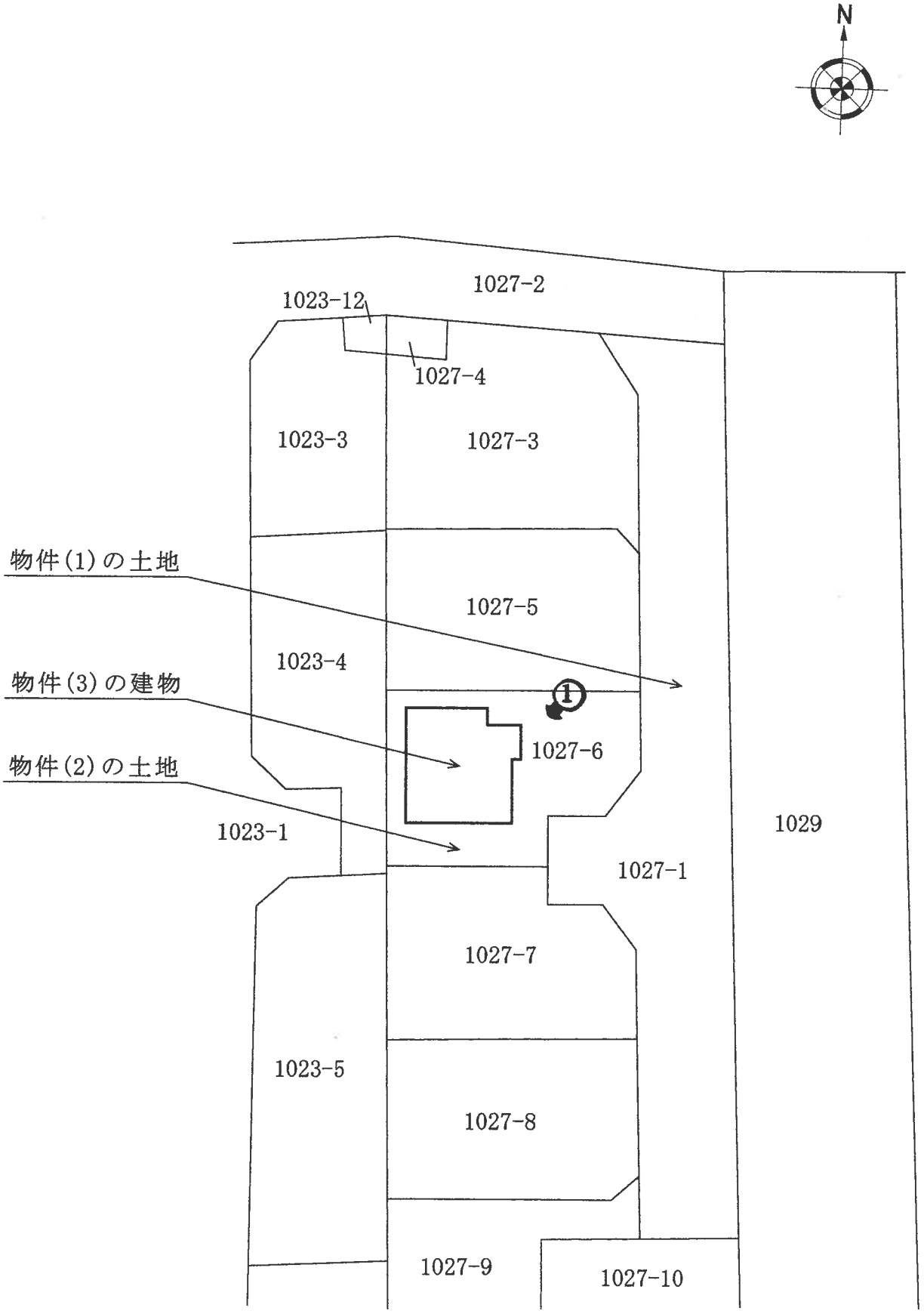
■　令和８年７月３１日
　目的物件は不在で施錠されていたので、立会人　　B　を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

□　令和　　年　　月　　日
　休日・夜間執行許可の提示をした。

■　写真　３枚添付

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

（土地・建物位置関係図）　　令和８年(ケ) 128号



◀◯：写真撮影位置と方向

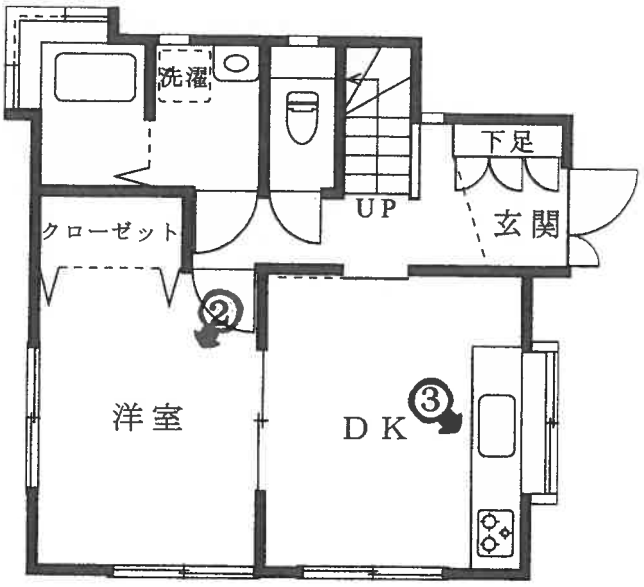
（ 5 枚目）

（建物間取図）

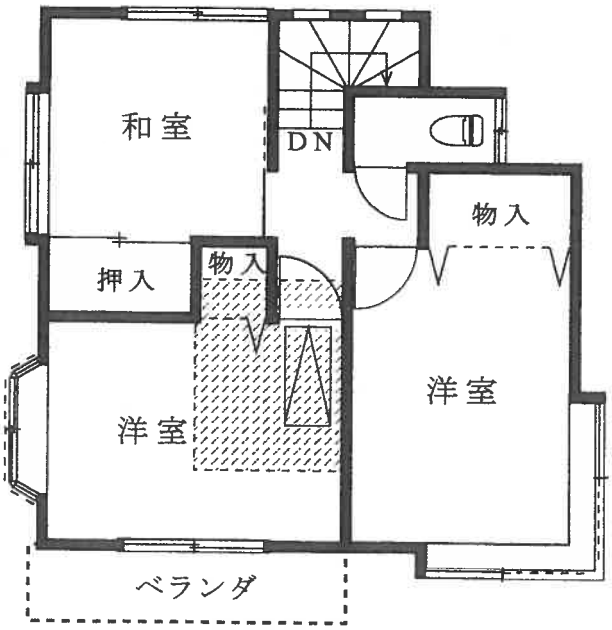
令和８年(ケ) 128号

N

1階



2階



部分屋根裏収納有り

◀◯：写真撮影位置と方向

1



2



3



（７ 枚目）

令 和 8 年(ケ)第 128 号
令 和 8 年 7 月 31 日 現地調査
令 和 8 年 9 月 7 日 評 価

東京地方裁判所立川支部
民事第４部不動産執行係　御中

評　　価　　書

評 価 人　　松 岡 利 喜 雄

第１　評価額

一　括　価　格	
金　５，８５０，０００円	
内　訳　価　格	
物件１（土地）	金　９０，０００円
物件２（土地）	金　１，４４０，０００円
物件３（建物）	金　４，３２０，０００円

１　一括価格は、物件１乃至３の各不動産について、一括売却（民事執行法第６１条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。

２　内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。

３　物件２の内訳価格は物件３のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件３の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

４　物件１の内訳価格は、公衆用道路の持分の価格である。

第２　評価の条件

１　本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

２　評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。

３　現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。

４　物件に関する情報提供の内容は、民事執行法第５８条第４項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第３　目的物件

番号	所在等	登記	現　況
1	次頁物件目録記載のとおり		同　左
2	次頁物件目録記載のとおり		同　左
3	次頁物件目録記載のとおり		同　左
番号	特　記　事　項		
	特になし		

令和　8年（ケ）第　　１２８号

物　件　目　録

１　所　　在　　青梅市今井二丁目

　　地　　番　　１０２７番１

　　地　　目　　公衆用道路

　　地　　積　　２３７平方メートル

　　共有者　Ａ　持分１４分の２

２　所　　在　　青梅市今井二丁目

　　地　　番　　１０２７番６

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　１２５．４７平方メートル

　　所有者　Ａ

３　所　　在　　青梅市今井二丁目１０２７番地６

　　家屋　番号　　１０２７番６

　　種　　類　　居宅

　　構　　造　　木造スレート葺２階建

　　床　面　積　　１階　３７．２６平方メートル
　　２階　３８．００平方メートル

　　所有者　Ａ

第４　目的物件の位置・環境等

１　土地の概況及び利用状況等（物件１及び２）

位置・交通	ＪＲ青梅線「河辺」駅の北東方・道路距離約3.6km及び同線「小作」駅の北方・道路距離約3.6km、最寄バス停から徒歩約4分に位置する（附属資料「位置図」参照）。	
付近の状況	近隣は青梅市東部に位置し、一般住宅が建ち並ぶ岩蔵街道背後の住宅地域である。北方には公立小学校が見られる。	
主な公法上の規制等（道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 第１種低層住居専用地域 40％ 80％ 指定無し 第１種高度地区、日影規制 敷地面積の最低限度：120㎡ 宅地造成等工事規制区域 青梅市の美しい風景を育む条例（一般地区） 景観計画区域（一般地域）
画地の状況	 地積 形状 間口・奥行 地勢 その他	（物件２） 125.47㎡ やや不整形 間口約10m、奥行約14m 前面道路と接しているカースペースは道路と等高であるが、物件３建物の基礎部分は道路より1m程度高くなっている。また、宅盤面は概ね平坦であるが、前面道路が北方へ下り傾斜となっているため、宅盤面は南側隣地より約1.5m低く、北側隣地より約0.2m～1.4m高くなっている。 物件１土地は幅員約5mの開発道路であり、北方で舗装市道に接続している。
接面道路の状況等	（物件２） 東側で幅員約5m舗装私道（建築基準法第42条第1項第2号）とほぼ等高に接面する中間画地。	
土地の利用状況等	◇物件２土地は物件３建物の敷地として、物件１土地は物件２が接面する私道（開発道路）として、それぞれ利用されている。 ◇建物の配置は、附属資料建物図面・各階平面図写のとおり。	

供給処理施設（基本的には敷地内への引き込みの有無を基準としている）	上　水　道 都 市 ガ ス 下　水　道	あ　り な　し（プロパンガスを使用） あ　り
土地の履歴等	◇土地閉鎖登記簿と過去の住宅地図で地歴を調査したところ、昭和43年以降の本件土地所有者は個人・不動産会社、令和2年からは本件建物の所有者であり、昭和55年版及び平成5年版の住宅地図ではいずれも未利用地であったことがわかった。	
特 記 事 項	◇本物件の東側部分に、普通乗用車が放置されている（詳細は「現況調査報告書」参照。	

2　建物の概況及び利用状況等（物件３）

区　　分	主である建物	
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載） 経　過　年　数 経済的残存耐用年数	平成８年３月６日新築 約 31 年 約２年
仕　　様	構　　造 屋　　根 外　　壁 内　　壁 天　　井 床 設　　備 そ の 他	木造　２階建 スレート葺 吹付・タイル貼り等 クロス・塗壁等 クロス・板張り等 フローリング・畳等 台所・洗面室・浴室・トイレ（２）等 ２階には階数及び床面積に算入されない屋根裏収納が存するが、この点については建物の再調達原価の査定で考慮した。
床面積（現況）	１階　37.26 ㎡ ２階　38.00 ㎡ 延　75.26 ㎡	
現況用途等	種　　類 間 取 り	居宅 ４ＤＫ （１階：ＤＫ、洋室、洗面室、浴室、トイレ等 ２階：洋室（２）、和室、トイレ等）
品　　等	普通	
保守管理の状態	やや劣る	
建物の利用状況	◇物件３建物は、所有者が住居として使用し、占有している。	
特記事項	◇室内は１階トイレの壁に一部破損個所が見られた。なお、１階ＤＫ及び洋室については、ビニール袋・ペットボトル・衣類その他物品が散乱・山積みとなっていたため、壁下部や床の状態はほとんど確認できなかった。 ◇東京都多摩建築指導事務所建築指導第三課で調査したところ、物件３建物は建築確認は受けているものの、完了検査を受けていない（検査済証が発行されていない）ものと判断された。	

第５　評価額算出の過程

１　基礎となる価格

①　物件２（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件番号	更地価格		地積（㎡）	建付減価	建付地価格（円）
	標準画地価格（円／㎡） ア	個別格差 イ	ウ	エ	オ
2	63,600	× 0.94	× 125.47	× 0.80	＝ 6,000,000

総額（円）については、１万円未満四捨五入とした（以下同じ）。

ア 標準画地価格　：　下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。
なお、標準画地は、近隣において、土地の概況（間口、奥行、規模等）及び利用状況等が標準的な中間画地を想定した。

【　公示地　青梅－１９　】

（公示価格）　（時点修正）　（標準化補正）　（地域格差）　（規準価格）
66,100 円/㎡ × 100 /100 × 100/ 105 × 100/ 99 ＝ 63,600円/㎡
（上三桁未満四捨五入）

時点修正：　令和8年1月1日から評価日までの推定変動率である。

標準化補正：公示地は方位で優る。　（北方位を標準とした）

地域格差：　公示地の所在する地域は対象地域に比較して街路条件が劣っていることを考慮して判定した。

イ 個別格差：個別格差率を以下のとおり査定した。
形状（やや不整形）(-3)、方位(＋2)、高低差(-5)
相乗積：0.97×1.02×0.95＝0.94（小数第3位を四捨五入）

ウ 地　積：登記数量による。

エ 建付減価：敷地と建物との適応状態を考慮して、建付減価率を20%と判定した。

② 物件１（土地）

物件１は道路（私道）の敷地として利用されているので、当該道路の性格（建築基準法42条1項2号）等を考慮して土地価格を求めた。

物件番号	更地価格		地積（㎡）	共有持分割合	土地価格（円）
	標準画地価格（円／㎡） ア	個別格差 イ	ウ	エ	オ
1	63,600	× 0.05	× 237	× 2 ／14	＝ 110,000

総額（円）については、１万円未満四捨五入を原則とするが、総額が１万円未満の場合には１万円に切り上げとする（以下同じ）。

ア 標準画地価格　：　下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。
なお、標準画地は、近隣において、土地の概況（間口、奥行、規模等）及び利用状況等が標準的な中間画地を想定した。

【　公示地　青梅－１９　】

（公示価格）　（時点修正）　（標準化補正）　（地域格差）　（規準価格）
66,100 円/㎡ × 100 /100 × 100/ 105 × 100/ 99 ＝ 63,600円/㎡
（上三桁未満四捨五入）

時点修正：　令和8年1月1日から評価日までの推定変動率である。

標準化補正：公示地は方位で優る。　（北方位を標準とした）

地域格差：　公示地の所在する地域は対象地域に比較して街路条件が劣っていることを考慮して判定した。

イ 個別格差：　個別格差率を以下のとおり査定した。
敷地として利用されている道路(私道)の性格等を考慮して、道路敷地による減価を -95%と査定し、価値率を5%と判定した。

ウ 地　積：登記数量による。

エ 共有持分割合：登記記載による。

③ 物件３（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件番号	再調達原価（円／㎡）ア	現況延床面積（㎡）イ	現価率 ウ	建物価格（円）エ
3	160,000	× 75.26	× 0.10	＝ 1,200,000

ア 再調達原価 ： 対象建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。

イ 現況延床面積 ： 登記数量による。

ウ 現価率 ： 対象建物の現況を考慮して、経済的残存耐用年数、残価率を下記のとおり判定し、耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して、現価率を求めた。

経済的残存耐用年数は、物理的・機能的及び経済的観点から建物の現況等を考慮して査定したものであり、税務上の耐用年数とは必ずしも一致するものではない。

観察減価については、建物の経過年数、建物の状態（経年使用に伴う内部の汚れや損傷ほか、建物本体及び設備関係の経年による老朽化等）、建物の保守管理の状況のほか、観察不能部分に伴う不測の減価等を総合的に勘案して判定した。

・経過年数約31年、経済的残存耐用年数約2年、観察減価率15%、残価率5%

〈残価率〉 〈耐用年数に基づく方法〉 〈観察減価〉

現価率：0.05 ＋（1－0.05）× 2／(31＋2) ×（1－0.15） ＝ 0.1

（小数第3位を四捨五入）

2　評価額の判定

前記１により求めた価格に、物件２の土地については土地利用権等価格を控除し、物件３の建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を決定した。

① 土地利用権等価格

物件番号	建付地価格(円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格(円) ウ
2	6,000,000	× 0.7	法定地上権	＝ 4,200,000

ア　建付地価格：前記１①オ

イ　売却により法定地上権が成立するものと解される。法定地上権割合は、近隣における借地権の取引慣行、課税上の割合等を参考に、建物の性質、地上権としての特性等を勘案して判定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件番号	基礎となる価格(円) ア	土地利用権等価格の控除及び加算(円) イ	占有減価修正 ウ	市場性修正 エ	競売市場修正 オ	評価額 (円)
1	110,000			×1.0	×0.8	＝ 90,000
2	6,000,000	－ 4,200,000		×1.0	×0.8	＝ 1,440,000
3	1,200,000	＋ 4,200,000	×1.0	×1.0	×0.8	＝ 4,320,000
一括価格（合計）						5,850,000

ア　基礎となる価格：前記１

イ　土地利用権等価格：前記２①ウ

ウ　占有減価修正：必要なし。

エ　市場性修正：必要なし。

オ　競売市場修正：「第２　評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮して修正を行った。

第６　参考価格資料

【指標とした公示価格】

	公示価格	青梅 －１９
価格時点	令和8年1月1日	
所在及び地番「住居表示」	青梅市今井2丁目845番2	
１㎡当たりの価格	66,100円/㎡	
地積	111㎡	
周辺の土地の利用の現況	一般住宅のほかに空地が見られる住宅地域	
前面道路の状況	南4m市道	
供給処理施設	水道、下水	
交通施設との接近の状況	河辺3.8km	
法令上の制限	１低専(40、80)	

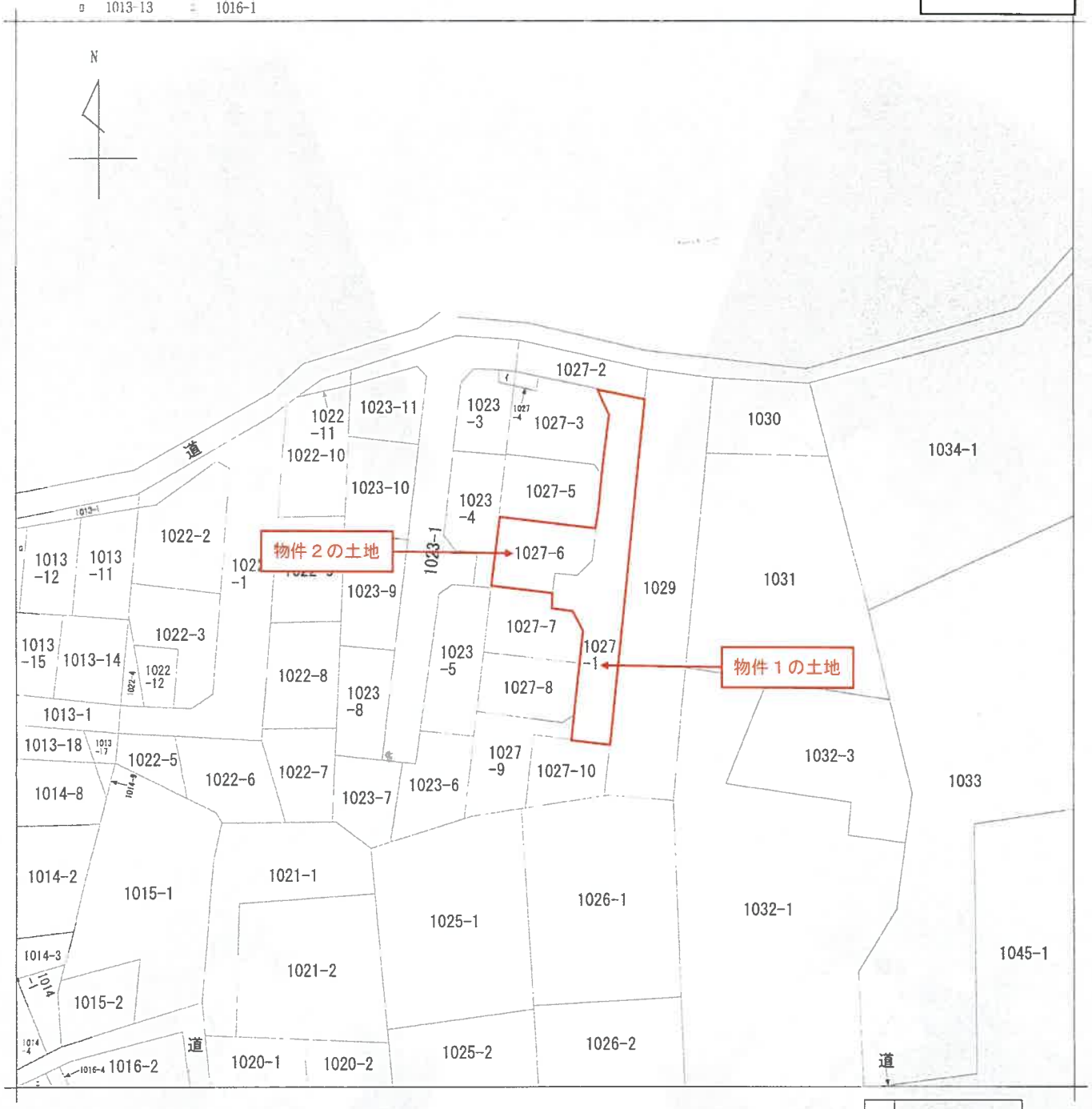
第７　附属資料の表示

位置図
公図写
地積測量図写
建物図面・各階平面図写

以　上


位　置　図
入間市
対象不動産
公示地
青梅－19
1
20000
株式会社　昭文社発行
「都市地図」より複製

公　図　写



（注）地図に準ずる図面は，土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間，これに代わるものとして備え付けられている図面で，土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

請求部分	所在	青梅市今井二丁目			地番	1027番6		
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日			備付年月日（原図）			補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

（東京法務局西多摩支局管轄）

令和8年5月22日

東京法務局中野出張所

登記官 [redacted]

請求番号：17-1

(1/1)

A３をA４に縮小

登記年月日：平成7年2月28日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

（東京法務局西多摩支局管轄）

令和8年7月24日　東京法務局府中支局

登記官

A3をA4に縮小

—15—

（前）1027

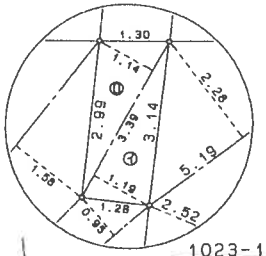
地番	1027-1, 1027-2, -3, -4, -5, -6, -7, -8, -9, -10
土地の所在	青梅市今井二丁目

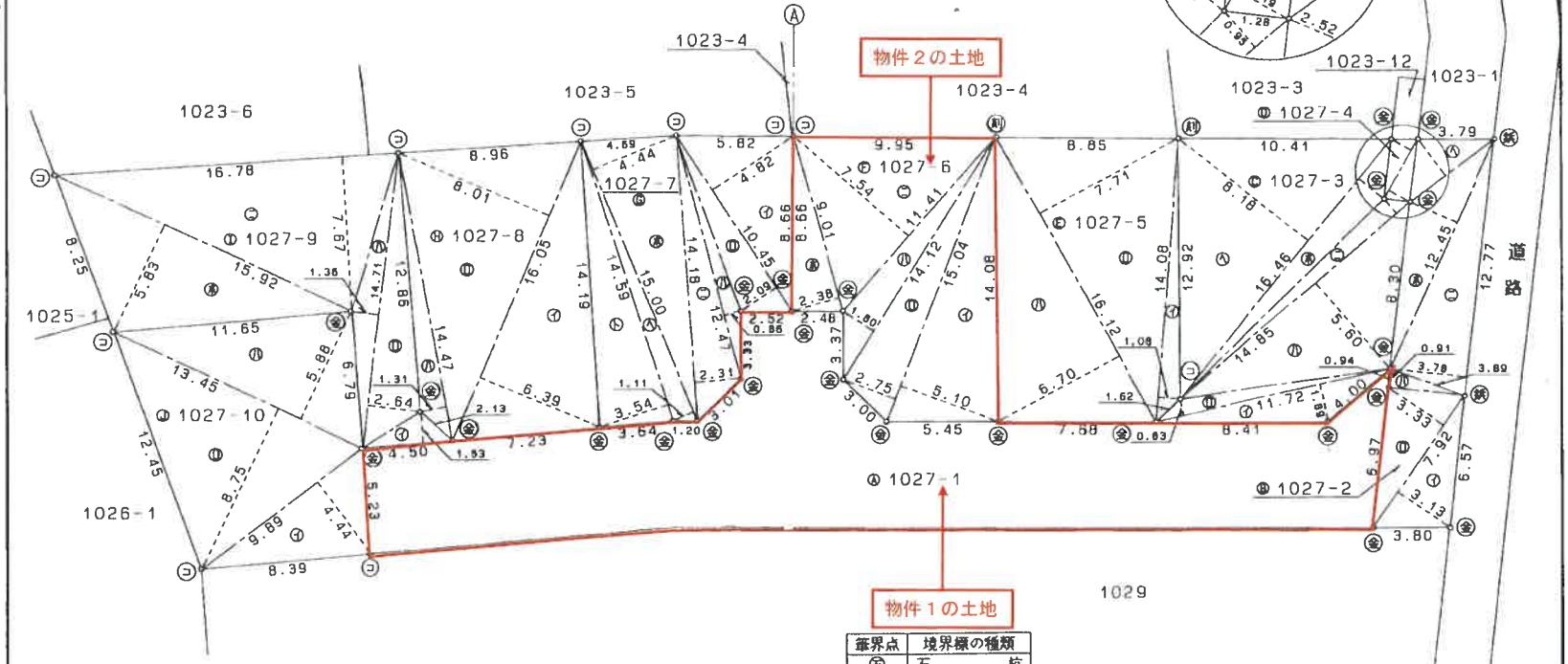
地積測量図

1/2

平成七年弐月弐八日

拡大図1／100





筆界点	境界標の種類
㋓	石杭
㋕	金属標
㋖	コンクリート杭
㋘	刻み
㋙	鉄

142126

作製者	[redacted] 年 2 月 27 日作製）	申請人	[redacted]	縮尺	1／250

（東京土地家屋調査士会用紙）

H7.2.28

[redacted]

[redacted]

請求番号：4-1　(1/2)

原紙を合成

登記年月日：平成7年2月28日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
（東京法務局西多摩支局管轄）
令和8年7月24日　東京法務局府中支局
登記官

A3をA4に縮小

地積測量図

2/2

前 1027
1027-1

地番	1027-2, -3, -4, -5, -6, -7, -8, -9, -10
土地の所在	青梅市今井二丁目

平成七年弐月弐八日

求積表

地番	Ⓗ 1027-8		
符号	底辺	高さ	倍面積
イ	16.05	6.39	102.5595
ロ	16.05	8.01	128.5605
ハ	14.47	1.31	18.9557
合計倍面積			250.0757
合計面積			125.03785
地積			125.03 ㎡
坪数			37.82 坪

地番	Ⓘ 1027-9		
符号	底辺	高さ	倍面積
イ	4.50	1.53	6.8850
ロ	14.71	2.64	38.8344
ハ	14.71	1.36	20.0056
ニ	15.78	7.67	128.7025
ホ	15.92	5.83	92.8136
合計倍面積			287.2412
合計面積			143.62060
地積			143.62 ㎡
坪数			43.44 坪

地番	Ⓙ 1027-10		
符号	底辺	高さ	倍面積
イ	9.89	4.44	43.9116
ロ	13.45	8.75	117.6875
ハ	13.45	5.88	79.0860
合計倍面積			240.6851
合計面積			120.34255
地積			120.34 ㎡
坪数			36.40 坪

地番	Ⓐ 1027-1	
公簿	合計面積	残地
1223.1404	985.45800	237.68240
	地積	237.68 ㎡
	坪数	71.89 坪

地番	Ⓔ 1027-5		
符号	底辺	高さ	倍面積
イ	14.08	1.08	15.2064
ロ	16.12	7.71	124.2852
ハ	16.12	6.70	108.0040
合計倍面積			247.4956
合計面積			123.74780
地積			123.74 ㎡
坪数			37.43 坪

地番	Ⓕ 1027-6		
符号	底辺	高さ	倍面積
イ	15.04	5.10	76.7040
ロ	15.04	2.75	41.3600
ハ	14.12	1.80	25.4160
ニ	11.41	7.54	86.0314
ホ	9.01	2.38	21.4438
合計倍面積			250.9552
合計面積			125.47760
地積			125.47 ㎡
坪数			37.95 坪

地番	Ⓖ 1027-7		
符号	底辺	高さ	倍面積
イ	10.45	4.82	50.3690
ロ	10.45	2.09	21.8405
ハ	12.47	0.86	10.7242
ニ	14.18	2.31	32.7558
ホ	15.00	4.44	66.6000
ヘ	15.00	1.11	16.6500
ト	14.59	3.54	51.6486
合計倍面積			250.5881
合計面積			125.29405
地積			125.29 ㎡
坪数			37.90 坪

地番	Ⓗ 1027-2		
符号	底辺	高さ	倍面積
イ	7.92	3.13	24.7896
ロ	7.92	3.33	26.3736
ハ	3.89	0.91	3.5399
ニ	12.77	3.78	48.2706
ホ	12.45	2.52	31.3740
ヘ	5.19	2.28	11.8332
合計倍面積			146.1809
合計面積			73.09045
地積			73.09 ㎡
坪数			22.10 坪

地番	Ⓒ 1027-3		
符号	底辺	高さ	倍面積
イ	11.72	1.89	22.1508
ロ	11.72	0.83	9.7276
ハ	14.85	5.50	83.1600
ニ	14.85	0.95	14.1075
ホ	16.46	1.58	26.0068
ヘ	16.46	8.18	134.6428
合計倍面積			289.7955
合計面積			144.89775
地積			144.89 ㎡
坪数			43.83 坪

地番	Ⓓ 1027-4		
符号	底辺	高さ	倍面積
イ	3.39	1.19	4.0341
ロ	3.39	1.14	3.8646
合計倍面積			7.8987
合計面積			3.94935
地積			3.94 ㎡
坪数			1.19 坪

142127

H 7 2 28

作製者	[redacted] 月 27 日作製）	申請人	[redacted]	縮尺	1/

（東京土地家屋調査士会用紙）

[redacted]

[redacted]

—16—

請求番号：4-1　(2/2)

登記年月日：平成8年3月29日

A3をA4に縮小

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
東京法務局西多摩支局管轄
令和8年5月22日　東京法務局中野出張所
登記官

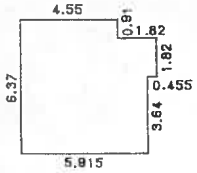
建物図面
~~各階平面図~~

家屋番号	1027-6
建物の所在	青梅市今井2丁目1027番地6

各階平面図

平成八年参月弐九日

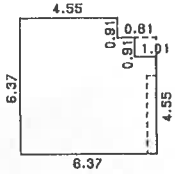
1階



求積表

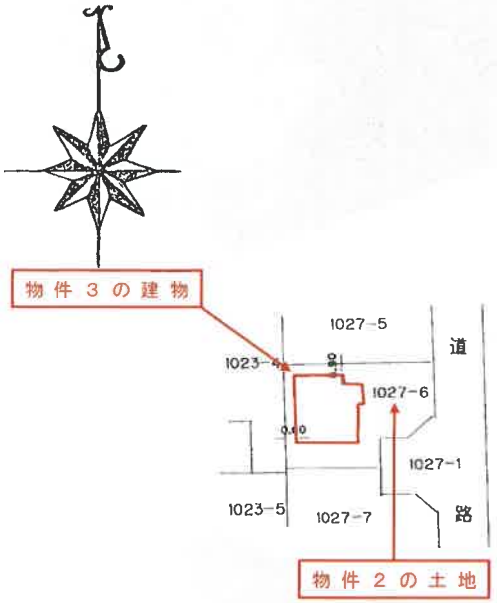
4.55	×	6.37	=	28.9835
1.365	×	5.46	=	7.45290
0.455	×	1.82	=	0.82810
合計				37.26450
床面積				37.26㎡

2階



求積表

4.55	×	6.37	=	28.9835
0.81	×	5.46	=	4.4226
1.01	×	4.55	=	4.5955
合計				38.0016
床面積				38.00㎡



001735

平成8年3月29日

単位メートル

作製者	[redacted] 作製)	縮尺	1/250

単位メートル

申請人	[redacted]	縮尺	1/500

（東京土地家屋調査士会用紙）

[redacted]

[redacted]

請求番号：17-2